

美園、五稜地区 01-459-2

①調査日 令和元年9月11日

②所在 上川郡美瑛町

緯度・経度：43.5969195034441, 142.3773168635079



③地区の沿革 昭和20年、美瑛原野地区の旧陸軍演習地6798㌥、ルベシベ地区の旧御料林（皇室所有地）2716㌥が開放された。東京や名古屋の被災者、復員軍人、外地からの引揚者らが、美園地区73戸、御陵地区に118戸が入植した。

④設置年月日 平成8年11月7日

⑤設置者 入植者等

⑥碑文（表面）



美瑛町五稜開基五十周年記念碑 拓魂

美瑛町長 水上 博

この地は、明治32年以来帝国憲法により宮内庁が所管する皇室の財産御料林として管理されていた土地であったが、太平洋戦争の終戦による、未曾有の大混乱と激動の中で極度の食糧難による食料増産と失業者の就業を図るため、昭和20年に緊急開拓事業が実施され、東京、名古屋方面から終戦疎開者を中心とした美園地区の開拓が始まり、その後、昭和22年大阪方面の開拓者に樺太、満州からの海外引揚者と、昭和29年に全国各地から16戸の入植をもって、美園地区73戸、御領地区118戸の総数254戸の入植者に依って開拓された。

これらの先人は、新地開拓に明日への希望を抱き、森林を伐採し、背丈を凌ぐ笹を刈り跡地を焼き払っては鋤を入れる、過酷な労働と厳しい自然と闘い、粗衣粗食など多くの苦難に耐え、不屈の精神力をもって開拓に励み肥土の大地に成し遂げ、昭和56年美園、五稜地区の合併を経て、今日の五稜郷が創られた。

開拓 50 周年を迎え、多くの先人の業績を讃え更なる五稜郷の発展と飛躍を願いこの功績を永く後世に伝えるため、現住者と五稜地区ゆかりある方々の賛助に依り記念碑を建立する。

平成 8 年 11 月 7 日 建立

⑦碑文（裏面） 50 周年記念碑建立者名



⑧現在の状況 五稜神社境内で管理されている。